

質問・要望	内容
質問	市道の拡幅の際、土地を無償提供したが、その部分の固定資産税が毎年請求されてくる。このようなことは直ちに是正して欲しい。
回答	税金の減免については、各自治会長が市道に使っているという申請をすれば減免の対象となる。市でも毎年市道の登記替えを行っているところであるが、追いついていないのが現状である。
意見要望	私の地域では自治会としての協力が得られない状況がある。減免のシステムについては、ごく最近行政から教えてもらった。部局間の連携による市政運営ができるよう議員も尽力してほしい。
質問	町名の表示は、各町内が申し込めば看板が設置してもらえるのか。三十八社にはもともと付いていないので、最初に付けてほしい。
回答	古いところから、または付いていないところから計画的に付けていく予定。麻生津地区においてどうなるのか確認していく。
調査結果	今年度調査計画を立て平成27年度から29年度で設置していく。撤去した所を最優先に設置し、以後計画的に順次進めていく。
質問	麻生津地区、我々住民の生活ってどうなるんだろうか。市議会としてどういった意見（考え）を持っているのか教えてほしい。
回答	我々の個人的な意見は言えない。議会としての決定事項についてしか申し上げられない。
質問	空き家を壊す時の補助はいくらなのか。例えば壊す時に100万かかるといわれたら、いくら補助してくれるのか。
回答	1㎡あたり5000円、上限50万。
質問	福井ハイツにおける道路での下水道工事後の舗装の亀裂や沈下についての対応は。
調査結果	福井ハイツの下水道整備は地元要望に基づき団地下水から公共下水道への切り替えを平成20年度から取り組んでいるが、現時点で5世帯が公共下水道に未接続であることから団地下水も撤去できない状況となっている。今後はパトロール等により段差の危険箇所があれば、部分的な補修は可能であるが、全体的な舗装の本復旧については、公共下水道への切り替えが速やかに行われ団地下水が撤去できれば早急に行っていきたい。

質問・要望	内容
質問	耐震診断について、平屋に二階部分を増築した家屋で診断を希望したら、診断の必要がないと市役所で言われた。本当に大丈夫なのか。
調査結果	耐震診断が必要な建築物は、既存部分がともに昭和56年5月以前に着工した建築物となる。診断の必要がないケースとしては、2階部分の増築が昭和56年6月以後の場合、既存部分も含め建築基準法の新耐震基準に適合していることが前提となっているためである。「診断の必要がない」との回答は、このような相談ケースと推測するが、個別に相談に応じたい。
質問	足羽中学校の前の道路が大変混雑している。道路の拡幅と交通規制ができないか。
調査結果	混雑の主な原因は、生徒を送迎する車が中学校前で停車するためであり、現時点で道路拡幅の計画はない。当中学校では保護者に対し学校前での乗降をしないように文書でお願いしているとのことである。交通規制に関しては福井南警察署の管轄となる。
質問	下水道事業を数年前に行ってもらったが、工事後で地盤沈下がおきてくる。下水工事を行った事業者が自ら道路課と連携を図り地盤沈下まで見込んで何年後かには道路補修しているのか、それともほったらかしなのか。
回答	まず埋戻しして、仮復旧するそのあと2年半後に本復旧する、その間沈下した場合には下水道部の方で補修することになっている。
再質問	麻生津地区においては必ずしもそのように復旧してもらえていない箇所がみられる。
回答	持ち帰り、道路課に伝える。
質問	福武線に自転車が持ち込めるようにならないか。
回答	えちぜん鉄道ではすでに行っているので、福武線についても市議会として要望していくことは可能と考えるので協議していきたい。
質問	放置自転車の問題があるが、市内を自転車でゆっくり散歩したい。自転車置き場について具体的に考えていないのか。
回答	市としても放置自転車については重要視している。4月からは自転車利用推進課を新設し、そこで対応することになった。中心市街地には県が無料で貸し出している「みどりの自転車」や、有料にはなるが福井市が貸し出しているアシスト付き自転車「ふくチャリ」がある。

質問・要望	内容
質問	予算の説明部分で、いろんな事業について単年度でこれだけの予算を使うのか、複数年度で総額いくらあってそのうち今年度これだけなのか。説明がわかりづらかった。弓道場の予算3億円は今年度だけなのか、3年間で10億円使われるのか。
回答	市の予算編成では単年度の予算を挙げている。弓道場の予算に関して、体育館周辺整備を3年間で行う予定の中で、3億円は弓道場整備を含めた、単年度の周辺整備予算である。
質問	民生委員の指導を徹底してほしい。市はどの程度行っているのか。
回答	民生委員については、昨年11月に新たな委員が決まったが、以前より増員されている。また毎回毎回研修を行い、レベルアップを図っている。
質問	農政企画室で、安らぎ農村連絡会 今年度に入ってもう一つ積極的な支援が得られなくなってきた。
回答	農村部と都市部の交流事業として取り組んでいるところだが、現状をもう一度把握、検討したいので持ち帰らせてほしい。
調査結果	平成19年からイベント開催費用や物品購入費用の支援を行ってきたが、運営体制が整ってきたことから平成25年度以降は独自で運営をしていただくことになった。今後は、団体間の情報交換や本会及び各団体が開催するイベント等の周知に対し支援を行っていく。
意見要望	議会報告の目的は何か。どんな苦情があるのか、どうしたら発展していくんやと言ってくれば、この報告会の参加者も意見がどんどんいえるが、役所の改築や中央公園、西口の話がされても意見は出ない。
意見要望	一般会計の17%という人件費は適当かどうか。福井はラスパイレス指数が高いのではないかと、これを抑えることによってもっと起債が抑えられるのではないかと、調べていただいて議員活動に活かしてほしい。
意見要望	公共施設が使いにくい。学校の体育館を借りるのに相当の労力がある。また借りる場合に鍵が一つとなっていて、不合理なことを市民に強いている。例えばみどり図書館の利用時間についても、市民の仕事が終わった後でも使える時間帯まで延長できないかなど、もっと市民目線に立って議員活動を行ってほしい。